



学校だより

教育目標 自主自律～創造性 豊かな心 健やかな身体～

人権スローガン

・性別や指向に関係なく、偏見や差別のない社会を実現しよう

杉並区立井草中学校

校訓 井草魂
～自主、不屈の精神、共感・共働の心～

令和8年 2月26日

杉並区教育調査結果

<保護者回答率59.6%>

	質 問	肯定率%
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	59.1
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	66.1
3	子どもは、学校で人権に関する多様な価値観について学んでいる	61.5
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	44.9
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	33.9
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	69.8
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	51.5
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	48.2
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	69.8
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	91.4
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	46.2
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	37.5
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	47.5
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる	71.1

【R7井草中】杉並区「意識・実態調査」生徒調査

1 各教科の授業の内容に対する理解の程度	肯定率%
(1) 国語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	90.4
(2) 社会の授業の内容はどのくらい分かりますか。	88.0
(3) 数学の授業の内容はどのくらい分かりますか。	77.0
(4) 理科の授業の内容はどのくらい分かりますか。	79.9
(5) 英語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	78.9
2 各教科の学習を得意と感じる意識の程度	
(1) 国語の学習はどのくらい得意ですか。	64.7
(2) 社会の学習はどのくらい得意ですか。	60.3
(3) 数学の学習はどのくらい得意ですか。	52.0
(4) 理科の学習はどのくらい得意ですか。	57.6
(5) 英語の学習はどのくらい得意ですか。	54.7
3 学習の動機	
(1) 分かることやできることが楽しいから。	82.6
(2) しっかり考えられるようになりたいから。	82.6
(3) 将来の仕事や生活に役立つから。	79.2
(4) 友達や先生と学習するのが楽しいから。	72.8
(5) 学校の学習で人に負けたくないから。	51.7
(6) 先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから。	47.8
4 学習の進め方（教科共通）	
(1) 確実にできるようになるまで、くり返し練習している。	63.0
(2) 難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。	69.4
(3) 分からないことがあっても、学習を続けるようにしている。	78.2
(4) 集中して学習に取り組んでいる。	77.7
(5) どうやったらうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている。	66.7
(6) 学習の途中で、分からないところやできないところはどこかを考えている。	80.6
(7) 学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。	67.9
(8) テストでまちがえたときは、なぜまちがえたのかを考えている。	80.6
(9) 他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている。	77.5
(10) 分からないときは、他の人や先生に質問して解決している。	83.3
(11) 自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。	59.3
(12) 他の人と相談して、考えを深めるようにしている。	79.7
(13) 学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。	76.0
(14) どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。	80.6
(15) 答えだけでなく、考え方も確かめながら学習している。	81.4
(16) 大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。	87.7
5 杉並区独自項目	
(1) 学校の生活が楽しい。	87.7
(2) いまの学校のみならず、協力して、全員が通うことが楽しくなる学校をつくれると思う。	78.9
(3) 相手が自分とは違う考えや気持ちでも、受け止めている。	93.6
(4) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	95.8
(5) 学校で困ったとき、スクールカウンセラーに相談できることを知っている。	93.1
(6) 新しいことを学んで身に付けようとするとき、自分で計画を立てて学習を進めることができる。	72.5
(7) 授業では、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学んでいる。	75.2
(8) 授業中、分からないことがあれば、先生が自分に合わせて教えてくれる。	68.6
(9) 授業では、タブレット端末を活用している。	94.1
(10) 自分には、自分のやりたいことを応援してくれる身近な地域の大人がいる。	85.3
(11) 読書は好きである。	62.7
(12) 10月中に本を読みましたか。	48.0

は、区の平均を上回っているもの

※調査時期…11月～12月

※調査方法…URLより回答（logofom）

調査結果を踏まえて

1 保護者回答結果より

(1) 「3 人権」について

区平均を下回ってはいますが、昨年度と比べ 20 ポイント以上、肯定率が上昇しました。次年度も引き続き、生徒・保護者・教職員が一体となって、すべての教育活動の基盤となる人権教育を推進し、区平均を上回ることができるよう取り組んでいきます。

(2) 「8 いじめ」について

区平均を下回っていますが、昨年度と比べ 10 ポイント以上、肯定率が上昇しました。次年度も引き続き、いじめの早期発見・早期対応を学校経営の柱として位置づけ、重大事態ゼロを目指していきます。

(3) 「13 通常学級と特別支援学級との交流」について

区平均を 15 ポイント以上上回るとともに、昨年度と比べ 5 ポイント以上、肯定率が上昇しました。結果に満足せず、次年度は多様性の包摂、特別支援教育の充実を学校経営の柱として新たに位置づけ、ちがいを認め合い、自分らしく生きる生徒の育成を目指します。

2 生徒調査結果より

(1) 各教科

特に数学を苦手としている生徒が多く、内容の理解度も低くなっています。「わかった」「できた」という実感をもたせる授業を展開しつつ、定着を図るための演習にも力を入れていきます。

(2) 学習の動機や進め方

おおむね良い結果であると言えますが、学習活動が将来の仕事や生活に結びつくと考えている生徒が少ないことが課題です。次年度は、学習の意義や意味をより丁寧に伝え、義務的な学習、テストのため、入試のための学習からの脱却を目指します。

(3) 独自項目

「いじめがいけないことだと思う」、「計画を立てて学習を進める」、「タブレット端末を活用している」項目の肯定率が高く、いじめ防止やキャリア教育、教育 DX の成果があらわれていると感じます。次年度も引き続き、指導の充実を図ります。

3 さいごに

今年度の保護者回答数は 300 を超え、保護者回答率は 60%となりました。昨年度は 39%でしたので、より確度の高い結果を得られたものと捉えております。改めて、多くの保護者の皆様にご回答くださったことに、心より御礼申しあげます。

本校の調査結果と杉並区教育委員会の方針を踏まえ、令和 8 年度の教育課程編成方針を以下の通り、昨年 12 月に策定しました。本校 HP に詳しく掲載しておりますのでご覧ください。

【 井草中学校 令和8年度の重点 】

(1) 教育活動

- ①人権教育推進 (いじめ防止を含む)
- ②キャリア教育推進 (活動の価値付け)
- ③個人探究学習の導入 (主体的な学び)
- ④特別支援教育推進 (多様性の包摂)

(2) 学校経営

- ①カリキュラム・マネジメントの徹底
- ②働きやすさと働きがいの両立
- ③教育 DX 推進
- ④「学びの相似形」の実践 (経営力の発揮)



性別や指向に関係なく、偏見や差別のない社会をつくるために、
2月2日(月)のオンライン朝礼で、性の多様性について触れました

ひとそれぞれにちがいがあり、性のありかたも多様です。
性のありかたは、4つに分けて考えることができます。

①法律上の性(ほうりつじょうのせい)
②好きになる性(すきになるせい)
③こころの性(こころのせい)
④表現する性(ひょうげんするせい)

①「法律上の性」とは、戸籍など、法律上で割り当てられた性別のことです。
日本では、男・女の2通りあります。

④表現する性…服、色、髪型、呼び方

- ★男だけど、女の子の美容やおしゃれに興味がある
- ★女だけど、青色が好き
- ★男だけど、ロングヘアーにしたい
- ★女だけど、自分のことを「ほく」とか「オレ」と言いたい

無意識の差別や思い込みのことを「アンコンシャス・バイアス」といいます。
「ふつうはとか」「あたりまえ」とか「世の中では」という言い方に気を付けましょう。

- ・赤やピンクが好き男性、料理が得意な男性もいます。
- ・ぼうず頭の女性や、カモチの女性もいます。
- ・※表現のしかたも、強かったり、弱かったり、変わったりすることがあります。
- ・…ちょっとだけ男(女)らしく、完全に男(女)らしく、中性的な感じ、どちらでもない感じ

②好きになる性…恋愛対象となる性

・女だけど、テレビの歌番組を見ると男性アイドルよりも女性アイドルのほうが気になる…
・男だけど、仮面ライダーよりもプリキュアのほうが好き…

- ★女だけど女性といっしょにすごしたいと思う人もいます。
- ★男だけど男性といっしょにすごしたいと思う人もいます。
- ★男性・女性どちらもおなじくらい好きと思う人もいます。
- ★どちらが好きかわからない人、きめたくない人もいます。

×「オネエ」「オカマ」などは、多様な性のありかたを差別する言葉です。
見聞きすることで傷つく人がいるので、絶対に使わないでください。

ぜったいに異性を好きになるとはかぎらないことを知ってください。
好きになる気持ちは、強いことも弱いこともあり、まざりあうこともあります。
また、心や体の成長とともに、変化していくこともあります。

どのくらいの人がいるの？井草中にもいるの？

- ★3～10%くらいいるといわれています(国内の調査)。
- ★中学生・高校生の6年間は、最も悩む人が多いです。
(第2次性徴や成長期を迎え、人との比較や自分らしさについて気にする時期です)
- ★中学生のときは、まだはっきりとわからない、悩んでいる人が多く、公表しない、さまざまな理由で公表できないという人がほとんどです(95%以上)。
- ★中学生の頃に悩みが深くなり、不登校やひきこもり、心の不調をきたす人がいます。
- 一方で、進学や将来を優先して、ガマンする人、平気でガマンできる人もいます。

③こころの性…自分が思う性

- ★自分のことを男だと思ふ。★自分のことを女だと思ふ。
- ★どちらでもあると思ふ。★どちらでもないと思ふ。

※トランスジェンダー…自分が思う性と戸籍上の性が異なる人

女だけど、女の子のおままごとよりも、男の子とサッカーをすることがあたりまえていた。
男だと思っているので、女子トイレに入るのがとても恥ずかしいです。着替えもいやです。
女だと思っていないので、「女子」と言われたり、女らしくないと思われるのもいやです。

「法律上の性」と「こころの性」が同じではない人がいることを知ってください。
自分の価値観・考え方を、他人に押し付けてはいけません。
★の4つの気持ちも、強くなったり、弱くなったり、まざりあうことがあります。
※この方のように、こころの性を公表することも、しないことも、その人の自由です。

井草中には、2階に「たれでもトイレ」があります。

さいごに(まとめ)…わたしたちがするべきこと

- ★性のありかたについて、学校生活での悩みが大きく、自分では解決できない場合は、相談しましょう。相談窓口は、副校長先生 と保健室の先生 です。
- ★それぞれの「ちがいを」尊重しましょう。「決めつけ」は絶対にいけません。
- ★自分の発言に対して、それを聞く人がどう感じるかを想像しましょう。
- ★たとえ自分の話の中であっても、他人のプライバシーに触れる情報がある場合は、本人の同意なしに勝手に共有しないようにしましょう。
- ★みんなが「自分らしくいられる」「居場所がある」「安心する」学校にしましょう。

2年 菅平移動教室

今回の宿泊行事では、「責任をもって自分の役割を果たすこと」「きまりやルール、マナーを守ること」「寝食を共にすることで仲間との親睦を深めること」「そしてスキーを通して、あきらめない気持ちを養い、心身共に成長すること」を大切な目標として掲げました。慣れない環境での集団生活は、楽しいことばかりではありません。それでも一人一人が自分の係や当番に責任をもち、声を掛け合いながら3日間を過ごす姿が随所に見られました。全体として本当によく頑張った3日間でした。

スキー実習では、初日は思うように体が動かず、不安そうな表情も見られました。しかし、3日間続けて練習を重ねる中で、驚くほどの上達が見られました。転んでも何度も立ち上がり、仲間の励ましを力に変えながら挑戦を重ねる姿は、まさに成長そのものでした。最終日、自信をもって滑り降りてくる姿、そして「できた」という達成感にあふれる笑顔は、何よりも輝いていました。その笑顔には、自分自身の努力を認められた喜びが宿っていました。もちろん、集団生活の中ではルールを十分に守れなかった場面もありました。しかし、その失敗に向き合い、次はどうすべきかを考えることこそが学びです。うまくいかなかった経験もまた、これからの成長の糧となります。この移動教室で得た自信と課題の両方を胸に、中学3年生へと歩みを進めていきます。仲間と支え合いながら挑戦した3日間の経験が、義務教育最後の1年間を力強く照らしてくれることを願っています。

保護者の皆様には、準備や健康管理など多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後とも温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2年スキー移動教室担当主幹教諭



i組 特別支援学級冬の連合移動教室

2月15日(日)～2月17日(火)の3日間で、i組は冬の連合移動教室に行ってきました。事前学習において、しおり等で行程や自分の役割などを学習してきたことを生かして、見通しをもって取り組むことができました。3日間のスキー講習を通して、みんなスキーの技術を上達させることができました。3日間とてもよく頑張りました。

移動教室担当主任教諭



【令和7年度杉並区学校文化荣誉顕彰受賞】おめでとうございます!

3年生の生徒が、『第68回東京都児童生徒発明くふう展 東京都知事賞』受賞を受けて、杉並区より表彰されました。小学校5年生から興味をもった『テンセグリティ構造』の研究を自主的に進め、これまでに実験や補装具(義足)の作成等に取り組んだことが認められたものです。

1年 校外学習(都内巡り)

これまで東京の文化や伝統、都市機能についてSDGsと関連づけながら学び、自ら考える力を養い、問題解決能力や協調性を身に付けることを目標に準備を進めてきました。

前日指導では、実行委員長からは、五感を使って都内を巡り、スローガンである「きょうまめまみれ」を常に意識して行動するよう呼びかけがありました。

当日は、乗る電車を間違えてしまったり、目の前で電車のドアが閉まってしまったり、駅のトイレではぐれてしまったり、改札工事の影響で予定外のルートから目的地に向かわざるを得なかったりと、さまざまなハプニングもありますが、その都度、連絡・相談を行い、状況を自分たちで判断して解決することができていました。振り返りのアンケートでも、参加した生徒の98%が「スローガンを意識して行動できた」「ルールを守って活動できた」と回答しており、意欲的に取り組む姿がうかがえます。実際に自分の目で見て体験したからこそ気付けたことが多かったようです。また、協力することの大切さ、事前準備の重要性、地域との関わり、礼儀や安全への意識、そして“ひとりでは難しいことも力を合わせれば達成できる”という実感を得た生徒も多くいました。

校外学習担当主任教諭



<3月の行事予定>

日	曜	行事	日	曜	行事
1	日		16	月	卒業式予行 ⑤カット 同窓会入会式(3年)
2	月	全校朝礼 3年⑤⑥カット 都立高等学校一次・前期発表	17	火	食育の日
3	火	学校運営協議会(9:50~ 12:00)	18	水	⑤卒業式準備 給食終(3年)
4	水	学習発表会展示準備	19	木	卒業式
5	木	普通救命講習(3年) お別れ会(i組)	20	金	春分の日
6	金	学習発表会リハーサル	21	土	
7	土	学校公開(朝読書カット) 学習発表会	22	日	
8	日		23	月	給食終(1・2年) ⑤⑥カット
9	月	生徒会朝礼 安全指導 ICT支援員	24	火	大掃除③ 離任式④
10	火	卒業式全校練習(1,2学年)④ 都立高等学校二次・後期入試	25	水	修了式
11	水	危機対応訓練(3.11を忘 れない) 展示片付け	26	木	春季休業日始
12	木	卒業式全校練習(全学年)⑤ 専門委員会→中央委員会	27	金	
13	金	保護者会(全学年)	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	
			31	火	

学校だより発行日時点での予定です。
変更になることもあります。